

沖縄ブロックにおける無電柱化計画について

道路管理課 課長補佐 ◎ 石渡 一義
電線共同溝係長 ○ 永山 盛久

1. 目 的

現在、沖縄県における無電柱化は台風による電柱の破損、電線類の断線防止等といった防災対策の観点はもとより都市景観の向上、安全で快適な通行空間の確保等の観点から整備している。

沖縄県においては第2期電線類地中化（H3～H6）から整備を行っており、平成20年度末現在までに約79kmの整備を行っている。

今回、無電柱化の概要及び新計画である「第6期無電柱化計画（H21～H25）」について、報告を行うものである。

2. 内 容

（1）概要

- ①、無電柱化の概要
- ②、整備効果
- ③、整備手法

（2）第6期計画について

- ①、無電柱化に関する要望路線の把握
- ②、路線検討
- ③、第6期無電柱化路線

3. 結 論

無電柱化路線決定に当たり、整理・検討及びとりまとめた結果は沖縄ブロック無電柱化推進協議会の議決を経て、第6期無電柱化計画が策定される。

各関係団体より地域の状況を踏まえ、無電柱化要望路線を抽出してもらい、その後、路線評価を行うことにより、無電柱化路線の優先順位を判断した上で景観、防災、離島等の配慮を行う事で客観性のあるバランスの取れた計画を策定した。

4. 今後の課題

現時点では電線管理者の予算上の制約もあり、約40km程度の事業実施が限界である。

今後、電線管理者、沖縄県等と連携し、整備延長延伸のための手法を検討し、整備を促進する必要がある。